

令和2年度
神奈川県立山岳スポーツセンター
維持管理事業実施状況総括書

公益財団法人 神奈川県公園協会

◎新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた施設の対応について

日時	山岳 SC の対応	県方針
2020.4/6	臨時休館（8/31 まで）	神奈川県対策本部会議において、県民利用施設の休館とする
4/7		緊急事態宣言発出（七都道府県）
4/16		緊急事態宣言発出（全国） 5/6 まで
5/4		緊急事態宣言延長（全国） 5/31 まで
5/25		緊急事態宣言解除
6/2	施設予約業務再開 ○ガイドライン作成 ○感染防止対策取組書登録 ○LINE コロナお知らせ掲示	
6/21	屋外施設クライミングウォール利用再開	
7/18	屋内施設（宿泊棟・研修室）利用再開	
2021.1/8		緊急事態宣言（一都三県）
1/12	臨時休館（2/7 まで）	
2/2	臨時休館（3/7 まで）	緊急事態宣言延長 3/7 まで
3/5	臨時休館（3/21 まで）	緊急事態宣言延長 3/21 まで
3/19	臨時休館（3/31 まで）	県条例に基づき 3/31 まで臨時休館
3/21		緊急事態宣言解除
3/25	臨時休館（4/21 まで）	県条例に基づき 4/21 まで臨時休館

◎臨時休館中の措置

- ・ 自主及び県山岳連盟合同イベント、県山岳連盟の委託事業（指導者養成研修会・クライミング普及教室）及び自主事業である登山教室等の中止
- ・ 屋内施設（宿泊・研修室・食堂等）の利用中止

I 維持管理事業計画の実施状況

項 目	細 項 目	実 施 状 況
I サービスの 向上 1 指定管理に あたっての考え 方、運営方針等	(1) 指定管理業務全 体を通じた団体等の 総合的な運営方針	<ul style="list-style-type: none"> 山岳スポーツセンターの設置目的及び山岳スポーツの拠点施設であることを把握して施設運営を行った。
	(2) 秦野戸川公園と 山岳スポーツセンタ ーの一体的な管理運 営にあたっての基本 的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> 秦野戸川公園内にある3施設(秦野戸川公園パークセンター、秦野ビジターセンター、山岳スポーツセンター)で利用促進、問題等の改善のため連携を図った。 ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためイベントは中止。
	(3) 利用者や地域住 民、環境等に配慮した 管理運営方針	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から「公平」、「透明性」、「厳正」に対応した。 利用者満足度アンケートを実施し利用者ニーズの把握に努めた。 ゼロエミッション等環境に配慮した維持管理に努めた。
	(4) スポーツ・競技 振興に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> 登山愛好者やクライミングウォール愛好者はもとより、何方にもきめ細かく対応しスポーツ振興に努めた。 ◇神奈川県山岳連盟の協力を得て底辺拡大のイベントを実施した。 ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためイベントは中止。
	(5) 業務の一部を委 託する場合の考え方、 業務内容等	<ul style="list-style-type: none"> 高度な技術や専門的な資格を要する業務は専門業者に委託し、適正な維持管理に努めた。 *別紙委託業務一覧表参照
2 施設の維持 管理	(1) 一体的な管理運 営による効率的な維 持管理	<ul style="list-style-type: none"> 植物管理等、直営業務を相互に兼務するなど、効率的な維持管理に努めた。
	(2) 清掃、保守点検、 受付等の維持管理業 務の実施方針	<p>(施設、保守管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成9年度の開館から23年が経過し施設の経年劣化による要補修箇所が増加している。 県発注工事(3件) 今年度は、①トイレ改修工事(和式を様式に、男子小便器を自動洗浄に交換)、②外壁改修塗装工事、③外周フェンス設置(一部)工事を実施した。 その他、宿直室エアコン交換、1階宿泊室の襖張替等の小規模な修繕の実施やスピード壁倉庫の棚設置や1階裏口の靴箱・箆子を職員により作製した。 物品管理に当っては毎月初めにチェックして適正管理に努めた。

		<p>(清掃管理)</p> <p>秦野戸川公園との一体的な管理となり、委託による清掃管理を行うことにより常に清潔で快適な環境の維持に努め、適正な日常管理を行った。</p> <p>(宿泊施設管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に食堂、厨房の衛生面、トイレ、シャワー室のきめ細かな清掃に配慮し清潔で安全な施設の維持に努めた。 ◆新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、「屋内施設(宿泊室・研修室等)における新型コロナウイルス対応ガイドライン」を作成し、利用者の検温、体調管理の報告を定め、館内においては、マスクの着用、手指消毒の徹底、使用後には職員による定期消毒を行うなど、感染症拡大防止に努めた。 ・山小屋及びキャンプ場の管理者等に対する衛生講習会 ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 ・館内害虫消毒業者委託…2回実施 (5月20日、11月18日) ・給水施設の点検及び水質検査2回実施 (1月7日、3月3日) <p>(植物管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中低木類の剪定は直営で行い、環境の維持に努めた。 ・クライミングウォール前の観覧席の芝生は、特に重点的な維持管理を行い良好な状態の保持に努めた。 ・季節の草花を館内に植え維持管理して来館者が和めるように努めた。
3 利用促進のための取組み、利用者への対応、利用料金	(1) より多くの利用を図るために行う広報、PR活動の内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・「山岳スポーツセンター条例」及び「利用等に関する規則」を遵守し利用者の確保に努めた。 ・団体利用者間で事前調整がなされ、予約が重複するなどのトラブルがなかったので、利用調整会議は開催しませんでした。 ・大倉バス停、秦野戸川公園パークセンター及び山岳スポーツセンター付近の案内掲示を更新するなどして利用者の拡大を図った。 ・平成21年度のホームページ開設から12年目となり、最新の情報や施設案内を掲示することによって、施設の利用が円滑に行われるよう努めた。
	(2) より多くの利用を図るために実施する登山・山岳競技等の	<p>○クライミングコンパオール神奈川 第75回国民体育大会代表選考会 4月4日(日) 中止 ○山開き親子体験クライミング 4月19日(日) 中止</p>

<p>振興に関する取組の実施方針、内容等</p>	<p>○8月10日(祝)「山の日」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設無料開放の実施…28名利用 ・「かながわ山の日 inHADANO2020」体験クライミング 中止 <p>○親子シャワークライミング(公園敷地内で地図とコンパスの利用教室、テント泊&星空観察と沢登り、) 8月17日(土)～18日(日) 中止</p> <p>○県民スポーツ月間</p> <p><施設無料開放日></p> <p>10月1日(木)～3日(土)</p> <p>104名利用(リード94名、スピード13名)</p> <p>施設については無料開放中止</p> <p><親子でチャレンジクライミング>(秦野戸川公園まつり)</p> <p>10月17日(土) 雨天中止</p> <p>○第35回かながわ県民登山</p> <p>11月8日(日) 中止</p> <p>○関東小中学生スポーツクライミング競技会 2020</p> <p>11月29日(日)</p> <p>参加者 1都6県 選手63名・関係者124名</p> <p>○県山岳連盟と連携を図り各種円滑な事業実施に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、開催が減少となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リードクライミング教室：年2回 ・スピードクライミング教室：年2回 ・委託研修：年6回 ・登山教室：年0回 ・冬山教室：年0回 <p>*別紙令和2年度山岳スポーツセンター利用計画兼山岳連盟行事表参照</p>
<p>(3) 利用料金の設定、減免の考え方</p>	<p>・県山岳スポーツセンター条例第13条に基づき県の承認を得て行った。</p>
<p>(4) 接客、苦情処理、利用指導等の考え方</p>	<p>利用者の声に耳を傾けつつホームページ、パンフレット、施設利用案内チラシで公正に説明し、利用者のご理解を頂きながら利用承認事務を行った。</p>
<p>(5) サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の事業等への反映の仕組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度調査を実施した要望事項について対応した。利用者満足度調査 9月(上半期分)、3月(下半期分) ・自動販売機は、屋外に移設し11年目となり、利用者への利便を図っている。

		<ul style="list-style-type: none"> • 具体的な施設利用案内をパークセンター内、大倉バス待合所付近、山岳スポーツセンター玄関前に掲示した。 • ホームページで、施設予約状況を小まめに更新し利用者の利便を図った。 • 夏場に屋外クライミング施設の上部に日除け・雨よけテントを設置し、利便を図った。 • 宿泊棟和室、洋室全室のカーテンを夏冬で交換し、利用者の快適利用を図った。
4 事故防止等 安全管理	(1) 通常の指定管理業務を行う中での事故防止等の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> • 事故防止、火災防止や犯罪発生防止のため職員不在の夜間、休館日の機械警備委託を行い安全の確保に努めた。 • 「事故防止点検マニュアル」により日常点検を実施して事故防止に努めている。 <p>※ゴールデンウィーク期間中の緊急連絡体制 ※年末年始緊急連絡体制 ※地震・風水害警報時の緊急体制 ※山岳スポーツセンター緊急連絡網 ※休日等県スポーツ課事故等体制表</p> <ul style="list-style-type: none"> • 職員による施設の随時日常チェック実施 • クライミング利用者への利用開始前の事故防止の周知 • 「施設点検チェックリスト」による日常管理実施。 • 消防計画書提出
	(2) 事故、異常気象等の緊急事態が発生した場合の対応方針	<ul style="list-style-type: none"> • 事故や災害発生時等の緊急時の体制および初期対応に従い適切な備えを行った。 • 警報発表時には施設点検パトロールを実施しスポーツ課へ報告。 • 事故等の発生は無し
	(3) 急病人等が生じた場合の対応	<ul style="list-style-type: none"> • 上級救命講習受講者の配置、AED 設置により急病人等の発生に備えた。 • 対応マニュアルにより対応 ・発生は無し
	(4) 登山・山岳競技の危険性に鑑み、指定管理業務を行う際の事故防止等の安全確保に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> • 職員が随時施設の巡視チェックを行い保全に努めた。 • クライミングウォールの駆動装置の適正な稼働のため、随時専門業者に委託する等して保全に努めた。
	(5) 当該公園の「震災時対応の考え方」に示す初期対応等への対応	<ul style="list-style-type: none"> • 大規模地震発生時の参集体制と配備体制を適切に整えた。 • 緊急参集訓練を秦野戸川公園と合同で実施 12月10日
	(6) 大規模災害発生	<ul style="list-style-type: none"> • 消防訓練

	時の施設の特性、立地状況等に応じた災害対応の考え方	令和2年9月26日 令和3年3月16日 ・BCB（事業継続計画）策定
5 地域と連携した魅力ある公園づくり	（1）地域人材の活用、地域・関係機関との協力体制の構築	○神奈川県委託事業の円滑な推進について県山岳連盟と調性を図りました。 ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためイベントは中止。
	（2）ボランティア団体等の連携、協働及び育成	○丹沢山小屋組合と連携を密にして山岳情報の収集、意見交換を行い利用者の利便を図った。
	（3）周辺地域との交流・連携	○山岳事故情報等情報収集 ・登山者遭難救助連絡会で得た情報を登山愛好者や登山教室で伝え安全登山の一助に努めた。
	（4）一体的な管理における地域企業等への一括的な業務委託による迅速、かつ、きめ細かいサービスの提供に向けた取組内容	・地域に精通している地域企業への優先発注のほか、地元非営利団体等への業務委託を行った。
	（5）企業のCSR活動（社会的責任、社会貢献）や学校等との連携について	・地元中学校2校（渋沢、本町）の職場体験の受け入れなど地域との連携を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。
	（6）地域振興に関する取組	・遠足利用等があった際の屋外2mクライミングウォールの案内、秦野戸川公園と連携した運動等の利用促進等を行った。
II 管理経費の節減等		<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な作業及び職員の努力で人件費の縮減に努めた。 ・宿泊棟全室のカーテンを厚生地製に交換する等光熱費の節減に努めた。 ・利用者の協力を得ながら節減に努めました。東日本大震災以後、特に節電に努めており、利用者にも協力を頂いている。
III 団体の業務遂行能力 1 人的な能力、執行体制	（1）指定期間を通じて両施設を効果的・効率的に指定管理を行うための人員配置等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤館長1名（兼務）、副館長1、総括管理主任1名（兼務）、専門員（山岳施設担当）1名、パート職員（維持管理等）1名を配置 ・毎月月末に翌月の勤務計画を作成し円滑な管理運営を行う体制づくりに努めた。 ・良好な管理運営に必要とする知識、技術の習得を図る研

		<p>修、講習会を受講し職員の能力向上を図った。</p> <p>○サービス教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 接遇研修等、苦情対応ロールプレイングを適宜実施 <p>○職務研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実務担当者研修（庶務） <p>◆新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、資料の配布で対応</p>
	（２）業務の一部を委託する場合の管理・指導体制の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日報の提出や現地確認等により指導監督を行い、業務完了後は完了検査を行うなど、適切な指導監督に努めた。
	（３）指定期間を通じて安定して指定管理業務を行うための人材育成や職員採用の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山岳スポーツセンターの設置目的を把握し知識及び経験を有する職員を確保した。 ・ 山岳関係の知識や経験豊富な人材に加えて施設管理能力がある優秀な人材が確保できた。また、27年度から秦野戸川公園との一体的な管理となり施設維持管理面での適正な対応ができた。
2 コンプライアンス、社会貢献	（１）指定管理業務を実施するために必要な団体等の諸規程の整備、法令遵守の徹底に向けた取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「条例」「利用規則」「（公財）神奈川県公園協会規則」各種法令等に基づき施設の適正管理に努めた。 ・ 事務処理、会計、利用承認等関係規則を遵守して執行した。
	（２）個人情報の保護についての考え方・方針及び個人情報の取扱いの状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「公益財団法人神奈川県公園協会個人情報保護規定」により適正に取り扱いをした。 ・ パソコンはパスワード設定し使用管理している。 ・ データバックアップのため新たにサーバーを設置した。 ・ 書面、データ類は鍵の施錠できるロッカーに保管している。
	（３）指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成15年度から「環境指針」を定め環境への負荷の軽減に取り組んでいる。 ・ ゼロエミッションへの取組として、コピー用紙の裏面再利用、環境製品の使用、電気、ガス、水道、灯油等の使用削減に努めている。 ・ 剪定樹木、落葉等の施設内処理を実施。環境に配慮したサイクル利用を図っている。 ・ 地球規模の環境対策が求められており、職員一人一人が自然に親しみながら共生できる社会を目指す意識の継続を図っている。

Ⅱ まとめ

第3期指定管理の6年目を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、臨時休館の措置を行いました。その後、感染減少により、屋外施設については6月21日から、屋内施設については7月18日からの利用再開を目指し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドラインを作成し、県の感染防止対策取組書の登録を行うなど対応に努めました。

6月21日の利用再開には、新設されたスピードウォールと、隣接する「はだの丹沢クライミングパーク」のオープニングセレモニーを開催しましたが、感染症拡大防止により、秦野戸川公園と連携したイベントや体験クライミングイベントの実施等は、利用制限や中止の措置を講じました。

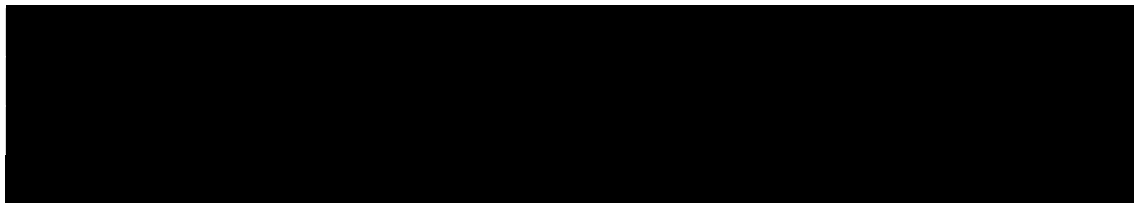
○利用実績は、昨年度比較で利用収入は、4,413,692円減の XXXXXXXXXX 円、利用者は7,755人減の3,958人、の利用に留まり、管理目標としていた11,000人を上回ることができませんでした。

今年度は、管理者である県スポーツ課においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴いトイレ改修工事（①和式を洋式に、②男子小便器を自動洗浄に、③手動手洗いを自動洗浄に）や平成9年完成以降、初の建物の外壁改修塗装工事、及び外周フェンス設置（一部）工事を実施していただき、より一層、安全で快適な環境の確保が出来ました。今後も利用者に安全・快適なサービスの提供及び感染症対策を徹底するなど管理目標達成に向け取り組んでまいります。

○施設利用者の状況

	利用者数(人)	全体比%	R1 利用者数	増 減
宿泊利用	249	6.3	2,031	-1,782
休憩利用	186	4.7	1,144	-958
研修室利用	407	10.3	2,331	-1,924
屋外クライミング	3,116	78.7	6,207	-3,091
総利用者	3,958	100	11,713	-7,755

○施設利用収入額の状況



○一般利用者の状況（人） 総数 4,770名

見学	トイレ	申込・ 下見	2mトラ パス	その他	電話問い合わせ			計
					施設	山岳情報	観光他	
1,869	3	2	2,312	33	477	7	67	4,770

※一般利用者も昨年度比減少。

※参考（H30年度8,947名 R1年度:7,531名）